

## 平成 17 年度事業概要

### 郷土資料館管理運営事業

京丹後市立網野郷土資料館は、民俗資料館として豊富な資料数を有しており合併してその資料数は急増した。特に丹後ちりめんに関する資料・漁具・農具の資料はまとまって存在しており、資料の整理と同時に展示・公開を通じて古い時代の生活の様子を伝え、学べる施設とする。

浦島伝説に係る皺榎の展示コーナー設置

水洗トイレ工事

### 古代の里資料館管理運営事業

京丹後市には、国指定・府指定・市指定文化財が 156 件あり、中でも史跡、考古資料には全国的に注目されるものが数多い。これらの文化財を調査し、保管、展示公開の拠点施設として活用するものである。

### 琴引浜鳴き砂文化館管理運営事業

琴引浜の鳴き砂は、貴重な自然の財産であり市指定文化財となっている。また鳴き砂は環境のバロメータでもあり、市の自然環境のシンボリックな存在になっている。この美しい自然を守り、後世に残していくべく鳴き砂を通じて、企画展示等により市民や来館者にメッセージを伝える情報発信施設とする。

### 文化財保護審議会委員設置事業

京丹後市が指定する文化財の指定及び解除について、又は指定された文化財の管理及び保全について審議・答申することを目的に設置。

### 文化財保護啓発事業

京丹後市にある多くの文化財を市民向けに観覧する機会を創出し、あわせて文化財保護に対する普及啓発をはかることを目的としている。具体的には、古代の里資料館を活用した企画展を年 2 回開催することを中心としている。

平成 17 年春（4/23～5/29 予定）「上山寺の文化財」展

平成 17 年秋（10/1～11/23 予定）「中世墓の世界」展 ほか

### 指定文化財等管理事業

京丹後市にある国指定・府指定・市指定文化財は 156 件を数える。これらの指定文化財等について、維持管理のために適切な処置を実施するものである。

京丹後市指定文化財等補助金

指定文化財等維持管理費

アベサンショウウオ生息地保全事業

市史編さん事業（歴史資料収集事業）

「京丹後市史」を編さん事業に着手する。平成 17 年度は市史編さん委員会等の設置及び考古、古代史の事業整理を始める予定。あわせて大宮町五十河の笹葺民家の建築調査を行い、文化財的な価値判断を行う

市史編さん委員会

笹葺民家建築調査

収蔵遺物整理事業

京丹後市が保管する収蔵資料について、適切な場所での管理を行なうために整理作業を行なうもの。

出土遺物保存処理事業

市内においてこれまでに出土した考古資料のうち、保存科学処理を行わないと公開が困難な金属製品・木製品が存在する。そのため国庫補助事業を活用しながら、一部は市の単独事業として保存科学処理を行うことにより公開可能な状況にする必要がある。これにより保存状況が良好となり、公開可能な資料が増加し、古代の里資料館等において活用が可能となる。

稲葉家文書整理事業

久美浜町の稲葉家は、建物を補修して「豪商稲葉本家」として公開し活用がはかられている。この稲葉家には、質量ともに有数の古文書が残されている。その内容について調査を行い今後の活用をはかるため、平成 15 年度より国庫補助事業を活用して古文書調査を実施している。その 3 カ年目にあたる。

遺跡整備事業

京丹後市域に所在する多くの史跡のうち丹後国の歴史を物語る重要なも

のについて、らくで学術資料として、また観光資源として有効な活用を  
図るために整備計画を推進するもの。

史跡整備検討委員会

遺跡発掘調査事業

京丹後市に所在する遺跡のうち、開発・活用・整備などのため発掘調査  
が必要であると認められたものについて、発掘調査を実施し埋蔵文化財  
の性格を調査するもの。

赤坂今井墳丘墓発掘調査

文化財保護一般経費

文化財保護関係団体への補助金